

水泳競技 競泳 監督者会議資料

1 競技について

- (1) 本競技会は、2022年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり実施する。
- (2) 競技は予選10レーン、決勝8レーンで、タイムスケジュールどおりに実施する。
- (3) 決勝は、予選の結果上位8名が出場できる。ただし、棄権者(棄権チーム)が出たときは、次点上位から順次出場権を与える。
- (4) 決勝進出について、同記録で予定人員を超えた場合は、スイムオフを行う。リレー種目のスイムオフは、予選と同メンバー・同オーダーとする。
- (5) 補欠は2名(2チーム)とし、補欠が同記録で複数いる場合は、抽選を行う。
- (6) 招集は競技開始10分前から行う。本人確認のため、招集所にはADカード・国民体育大会選手カードを持参すること。招集所受付で、ADカード・国民体育大会選手カードの確認、水着の確認を行う。
- (7) 予選を棄権する場合は、所定の棄権届出用紙に記入し、当日の予選競技開始20分前までにリゾリユーションデスクに届け出ること。決勝を棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、その予選競技終了後1時間以内にリゾリユーションデスクに届け出ること。
- (8) 公式計時SEIKOによる計時バックアップは、水中バックアップシステムを使用する。
- (9) 競技成立後は、個人種目・リレー種目とも、折返監察員の指示によりプール横から退水すること。決勝1位の選手ならびに1位のチームは自レーンから退水し、フラッシュインタビューを受けること。
- (10) 選手紹介は、予選は入場後に紹介する。決勝は、入場ゲート前で、氏名・都道府県名の紹介を受けてから入場すること。
- (11) リレーオーダーは、下記の時間までにリゾリユーションデスクに提出すること。

1日目・9月17日(土)		2日目・9月18日(日)		3日目・9月19日(月)	
予選競技	決勝競技	予選競技	決勝競技	予選競技	決勝競技
9:30	14:15	9:15	14:10	9:15	12:45

- (12) 本大会は上訴審判団を設置する。
【坂元 要・村山 よしみ・鈴木 浩二・金子 日出澄・長谷川 嘉明】
- (13) 本大会は、JADAによるドーピング検査対象となるので、常にADカード・国民体育大会選手カードを携帯すること。

2 全体スケジュールについて

期 日	事 項	選手控所 開場時間	プール 開場時間	予選競技		決勝競技		閉門時間 (予定)
				開始時間	終了時間	開始時間	終了時間	
9月16日(金)	公式練習日	7:30	8:00	8:00 ~ 18:00				18:15
9月17日(土)	1日目	7:00	7:15	9:30	12:20	14:15	18:00	18:40
9月18日(日)	2日目	7:00	7:15	9:15	12:20	14:10	18:00	18:40
9月19日(月)	3日目	7:00	7:15	9:15	11:50	12:45	16:30	17:00

開 始 式 9月17日(土) 9:15~ 総合表彰式 9月19日(月) 全競技終了後

3 表彰について

- (1) 1位~3位に賞状を授与し表彰する。4位~8位に賞状を授与する。
- (2) 表彰時において、小旗・タオル・県旗等の持ち込みは禁止する。
- (3) 賞状の受け渡しは、賞状引渡所で行う。

4 プールの使用について

(1) メインプール

- ① 水深2m、水温27.5度に設定する。
- ② 練習は3日間とも9:00までとする。
- ③ 昼休みの練習は、当日の決勝出場者のみとする。
- ④ 0・9レーンをダッシュレーンとする。0レーンは折り返し側からの一方通行、9レーンはスタート側からの一方通行とする。
- ⑤ 1レーンをペースレーンとする（クロールのスイムでのみ使用可）。ただし、ダッシュレーンは利用状況により、大会本部が別途設定し、通告・電光掲示板で指示を行う。
- ⑥ パドル・コード類の使用を禁止する。
- ⑦ 公式スタート練習は行わない。

(2) サブプール (25m×8レーン)

- ① 水深2m、水温27.5度に設定する。
- ② 8レーンをダッシュレーンとする。（バックストロークレッジを設置）
- ③ 2レーンをペースレーンとする（クロールのスイムでのみ使用可）。
- ④ 競技中、電子ホイッスルも含めてホイッスルの使用を禁止する。
- ⑤ パドルの使用については、安全面に十分留意すること。コード類の使用については、他の選手・コーチの妨げにならないよう十分留意し、1レーンでのみ許可する。。

5 その他

- (1) 全ての競技者は、競技終了後、予選・決勝を問わずミックスゾーンを通り退場すること。
- (2) 招集所・選手控え場所にモニターを設置する。
- (3) 公式掲示板を、1階エントランスホール（選手控え入口）・2階プール用ホワイエ（通路）の2カ所に設ける。
- (4) プログラムは2,000円で販売する。
- (5) 決勝スタートリストを200円で販売する。また、各都道府県には5部ずつ、1階エントランスホール（選手控え入口）に設置する都道府県用レターケースに配布する。
- (6) Eテレ(NHK教育テレビ)の放送について
17日(土) 15:00～(16:45) <LIVE>、18日(日) 14:30～(16:30) <LIVE>、19日(月) 15:00～(16:00) <LIVE>
- (7) 競技結果を、以下の公式サイトにて確認することができる。
 - ・SEIKO競泳リザルト速報ホームページ (<http://swim.seiko.co.jp/>)
 - ・日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル」(<https://sp.j-swim.jp/>)

6 注意連絡事項

(1) 会場使用について

- ① ADカードは宿泊施設で配布する。競技会場にいるときは常時首から下げて提示する。プールに来場する場合は、監督が責任をもって配布すること。選手は、顔写真を添付した国民体育大会選手カードを、写真が見えるようにADカードの裏面に挿入すること。18歳未満の選手は、保護者（親権者）の署名を必要とする。※国民体育大会選手カードについては受付（選手・監督）において事前確認を行う。最初に出場する予選競技の招集までに事前確認を終わらせること。
監督・チームスタッフは、ADカードに顔写真を添付し、競技会場にいるときは常時首から下げて提示すること。また、入退場の際には、必ずADカードを提示して係員の指示に従うこと。万一紛失した場合は、受付（選手・監督）において再発行の手続きをすること。
※国民体育大会選手カードおよびADカードの顔写真は、必ず糊付けをすること。
- ② 選手・監督・チームスタッフの入退場は、1階：選手・監督入口からとする。
- ③ 一般入場の入口は、2階：一般観覧者入口より8:15からとし、出口も同様とする。
- ④ 撮影許可証は必要としない。ただし撮影時には、以下の注意事項を順守すること。

《注意事項》

- ア. 会場内では、指定された場所（観覧席）で撮影すること。
- イ. フラッシュを使用しての撮影は厳禁とする。
- ウ. 不審な撮影行為は、場内司令員・警備係が事情聴取をし、場合によっては警察に通報する。不審な撮影行為を見かけたら、場内司令員・警備係に連絡し協力すること。
- エ. 個人情報保護法に抵触しないよう十分に注意すること。

⑤ 事前に指定された駐車場に、各都道府県3台までの駐車を可能とする。

(2) 選手控え場所について

- ① 選手控え場所はエリアを指定する。
- ② 選手控え場所の敷物等は整理整頓し、ごみの処理を徹底すること。

(3) 応援席について

都道府県を、参加選手数により9ブロックに振り分ける（選手応援席割当図）。移動通路は、最上部を利用すること。応援席は、日ごとにローテーションを行う。

(4) マッサージスペースについて

マッサージスペースは、サブアリーナとする。公式練習日の開場時から最終日まで利用できる。スペース内の70エリアは、自由に利用できる。ただし、エリア内にはマッサージベッド1台、人数は2名までとする。エリア外の部分はフリースペースとし、ストレッチ・荷物置き場等に利用できる。ただし、控え場所としての利用はできない。

(5) 更衣室について

更衣室は更衣のみの使用とし、ロッカーは使用できない。更衣室内を控え場所としたり、飲食をしたりすることはできない。マッサージベッド・敷物等の持ち込みは禁止とする。置き荷物は、忘れ物として扱う。競技会終了後、残った忘れ物は処分する。

(6) 貴重品について

持ち物や貴重品は各都道府県で管理し、盗難には十分に注意すること。万一盗難が発生した場合、大会本部はその責任を負わない。

(7) ごみの処理について

競技会場で支給された弁当・ドリンクのごみは、指定された場所で回収する。その他のごみは、全て持ち帰ること。